

令和6年度事業報告書

自 令和 6年4月 1日

至 令和 7年3月31日

公益財団法人 海 原 会

令和 6 年度事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

海原会は、その前身である「予科練の碑保存顕彰会」が昭和 42 年 5 月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和 53 年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も 400 名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっているのは遺憾ながら否めない現実であります。令和 6 年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊顕彰活動に従事するかたわら、昨年度に引き続き会員の募集にも力を入れて参りましたが、年度の入会者は 35 名に留まり退会者数を補うまでにはその成果が得られておりませんが入会数が逐年増加しており望ましい傾向にあると考えています。しかしながら、次年度以降も、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、前述のように厳しい環境下ではありますが、令和 6 年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」で開催する「予科練戦没者慰霊祭」であります。令和 6 年度は第 57 回目の慰霊祭を開催いたしました。

また、「予科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭に、可能な限り役員を参加させるとともに、必要により玉串を奉納し予科練戦没者の御霊の安らかならんことをお祈り申し上げました。

その状況は以下に記述するとおりであります。

1 慰霊事業

(1) 第 57 回予科練戦没者慰霊祭

第 57 回予科練戦没者慰霊祭は例年通りの規模と内容で開催しました。

近年の地球温暖化の影響か、五月にしては高めの気温の雄翔園において、参加者の心のこもった慰霊祭を挙行することができました。

ア 予科練戦没者を偲ぶ集い

(ア) 日 時 : 令和6年5月25日(土) 午後6時

(イ) 場 所 : L 'AUBE Kasumigaura

(ウ) 参列状況

70名の参列をいただき盛大に開催した。遺族及び同窓の参加率は約40%を保持しており、偲ぶ集いの開催の目的を果たすことができた。30%を下回る状況となったら開催の可否を検討すべきと考える。

武器学校長以下主要幹部	4名
遺族及び同窓生等	27名
一般招待者	33名
海原会	6名

イ 第57回予科練戦没者慰霊式典

(ア) 日 時 : 令和6年5月26日(日) 午前11時から

(イ) 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」

(ウ) 参加状況

ご遺族代表に、甲飛第10期力山茂樹命のご実弟力山清司氏をお迎えし、ご遺族及び予科練同窓を始めとする、約270名の方の参列をいただき盛大に開催できた。

特に本年度は、招待者以外の一般見学者約50名が参列し、慰霊祭が地元阿見町民に認識をしてもらえる兆しが感じられた。

武器学校主要幹部及び自衛官	25名
遺族及び予科練同窓生	82名
一般所招待者	103名
海原会役員	14名
一般見学者	約50名

(エ) 協 力

陸上自衛隊武器学校	: 慰霊祭会場の設営及び備品の提供 勤務員の派遣
武器学校OB会	: 受付等勤務者の派遣
陸上自衛隊施設学校	: 音楽隊の派遣
海上自衛隊下総教育航空群	: 旗衛隊・儀仗・献火各隊員の派遣
甲飛喇叭隊	: 会場案内勤務員の派遣
予科練平和記念館	: (1) 同館駐車場の利用

(2) 予科練平和記念館の無料開放

阿見町観光ガイド : 交通統制勤務員の派遣
阿見町交通安全母の会 : 会場内勤務員の派遣
霞ヶ浦高等学校 : 会場内勤務員の派遣

(オ) 後援 阿見町及び阿見町教育委員会

(カ) 内 容

a 第57回予科練戦没者慰霊式典

式典では、宮本理事長が参加者を代表して祭文を奉読した後施設学校音楽隊が奏でる「國の鎮め」に併せて黙祷を実施しました。

陸上自衛隊武器学校長、海上自衛隊教育航空集団司令官、阿見町町長にご祝辞をいただいた後、海原会行方参与により遺稿朗読が行われました。特に今年度は佐賀県から乙飛23期生の人間国宝で陶芸家の井上萬二様に同窓生を代表して追悼の言葉を頂戴いたしました。

b 式典参加者

(a) ご遺族代表として、甲飛10期 故 力山茂樹様の実弟 力山清司様が出席し、挨拶をいただきました。

(d) 阿見町町長、阿見町町議会議長、阿見町教育長、予科練平和記念館長、笠間市教育部長、土浦市副市長等行政機関の代表者の出席をいただきました。

(e) ご遺族及び予科練同窓生を始めとする会員等に対して玉串を募集し、協賛いただいた98名の芳名録を慰霊碑に奉奠しました。芳名録は第58回慰霊祭までの間雄翔館に展示することとしました。

d 慰霊祭動画の編集とDVDの贈呈

慰霊祭の様子を撮影した動画を編集して、玉串料を奉納していただいた協力者全員に贈呈しました。

ウ 特別展示会の開催

(ア) 期間 令和6年5月8日(水)～6月30日(日)

(イ) 場所 雄翔館

(ウ) 内容 海底の墓標「戦艦陸奥」

(エ) 期間内入場者数 3,214名

(オ) 協力 スティングレイ ジャパン・予科練平和記念館
・奥本剛氏・清水亮氏

(2) 全国各地で挙行された慰霊祭等への参加

全国各地で開催された慰霊行事に、役員等を派遣するとともに供花料、玉串料

を奉呈しました。

令和6年	5月	4日	北浦海軍航空隊慰霊祭 於：北浦海軍航空隊慰霊碑前 平野理事及び行方参与が出席した。
	5月	25日	筑波海軍航空隊慰霊祭 於：筑波海軍航空隊記念館 宮本理事長が出席した。
	6月	29日	静岡空襲日米合同慰霊祭 於：静岡市賤機山 菅野名誉顧問が主催 静岡市民やアメリカ軍の 関係者約120名が参列
	7月	5日	大東亜戦争全戦没者慰霊祭 於：靖国神社 宮本理事長が出席した。
	9月	1日	第11回戦没学徒慰霊祭 於：広島県護国神社 玉串料を奉納した。
	9月	22日	特攻平和観音年次法要 於：世田谷観音寺内特攻観音堂 宮本理事長が出席した。
	10月	25日	海上自衛隊下総航空基地開設記念行事 於：海上自衛隊下総航空基地 篠田副理事長が理事長代理として出席した。
	11月	10日	陸上自衛隊武器学校開設記念行事 於：陸上自衛隊土浦駐屯地 宮本理事長が出席した。
	11月	16日	陸上自衛隊施設学校開設記念行事 於：陸上自衛隊勝田駐屯地 篠田副理事長及び小野評議員、平野理事の3名が 出席した。
令和7年	3月	29日	第46回特攻隊全戦没者慰霊祭 於：靖国神社 篠田副理事長が理事長代理として出席した。

(3) 慰霊環境の整備

ア 雄翔園庭園池の水質浄化

水質浄化装置3基(品名：グラナ)を庭園池内に設置して、水質の改善に

努めた。

イ 雄翔園整備作業の実施

慰霊祭開催のための環境整備のため、武器学校が主体となって雄翔園内の集中整備を行った。

本年度は、延べ計5回の雄翔園池の整備を実施しました。

(4) 雄翔園及び雄翔館見学者実績

令和6年度は、26,602名の方が雄翔園及び雄翔館を見学しました。

開館中に見学者から頂戴した見学所見は、機関誌「豫科練」に掲載しました。

掲載させていただいた見学者には当該機関誌を贈呈させていただきました。

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を着実に推進しています。令和6年度は、ご遺族等から提供いただいた161点の遺品等を整理保管いたしました。

イ 海原会所蔵品等の整備

(ア) 雄翔館内作業

①館内現況調査：4回（305品目、947点）

②雄翔館内倉庫の清掃

(イ) 保管庫内の整備

①遺品台帳等の整備

②保管庫内の整理

③防虫剤等の入れ替え

④遺品等の現況調査：2回

⑤海原会管理図書の現況調査：2回

(2) 特別展示等の開催

常設展示の他に、年5回の展示会を行った。

ア 海底の墓標・戦艦陸奥（特別展）（5月8日～6月30日）

イ 予科練指定食堂（小さな展示室）

ウ 教育漫画海軍生活全集（小さな展示室）

エ 母ちゃんへの手紙（小さな展示室）

オ 海軍飛行専修予備学生（小さな展示室）

(3) 遺族支援調査

ア ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓蒙と当会への入会の促進を図ってきました。

イ 支援調査の実績

(ア) 令和6年12月14日

乙飛3期生 渡辺忠三様ご遺族青山久栄様が事務局を訪問して遺品等を寄贈した。

(イ) 令和6年10月27日

甲飛13期 北村十二郎様のご実弟北村昭二様の納骨式に参列した。

ウ 本年度は特に、祖父や父親が元生存予科練であったという方からの連絡や入会の問い合わせが増加しました。

(ア) 12月14日、乙種飛行予科練習生第3期 渡辺忠三様、乙種飛行予科練習生第7期 渡辺正作様のご遺族青山久栄様から保管遺品の寄贈についてご依頼があった。

(イ) 2月13日、乙種飛行予科練習生第15期 海上斌様のご遺族加藤知子様から保管遺品等の寄贈についてご依頼があった。

(ウ) 2月11日、第23期普通科整備術練習生 杉山要三様の遺品の寄贈について渋谷啓次様から依頼があった。

(エ) 2月13日、生存元予科練生金子晃様のご子息長田泉様から保管遺品等の寄贈について依頼があった。

(4) 海原会会員の入退会状況

本年度は、40名の方が退会され新たに35名の方が入会されました。

年度末現在における会員数は、353名で昨年度から5名減少した。

その内訳は以下の通りである。

ア 一般会員	326名(甲飛、乙飛、特乙飛、丙飛を含む)
イ 賛助会員	9名
ウ 学生会員	2名
エ サポーター会員	11名
オ インターネット遺族会員	5名

(5) 陸上自衛隊との連携

ア 雄翔園の整備

本年度は、武器学校の協力を得て雄翔園の池浄化装置の定期整備を令和7年3月21日に行いました。

イ 武器学校開設記念行事

(ア) 令和6年11月10日(日)に陸上自衛隊土浦駐屯地開設72周年記念行事が開催され、海原会から宮本理事長が参加しました。

(イ) 雄翔館の案内

開設記念行事で見学に来られる一般入場者を対象に、海原会で雄翔館内の案内を実施しました。この際、阿見町観光ガイド及び霞ヶ浦高等学校ボランティア同好会の生徒12名の協力をいただきました。

招待客356名を含む3,468名の方が入場されました。

(6) 海上自衛隊との連携

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

ア 航空学生の入隊式

第76期航空学生の入隊式は、理事長交代直後の為に海原会からの参加はありませんでした。

イ 下総航空基地開設記念行事

令和6年10月25日(金)開催された下総航空基地開設65周年記念行事に、篠田副理事長が理事長代理として出席しました。また、平野理事が同行しました。

(7) 行政及び他団体等との連携

ア 予科練平和記念館運営協議会

(ア) 予科練平和記念館運営協議会

7月1日(月)・3月17日(月)に開催され、委員として平野理事が出席しました。

(イ) 予科練平和記念館職員研修

1月17日(金)に行われた、予科練平和記念館職員の雄翔館及び雄翔園研修を、平野事務局長と行方参与が支援をしました。

◆ 研修参加者 予科練平和記念館長以下12名

◆ 研修内容 雄翔園及び雄翔館の見学

イ ご遺族等調査協力

予科練平和記念館からの要請により、ご遺族などの戦没予科練生及び生存同窓生に関する調査に協力しました。

ウ 3者連絡会

阿見町所在の慰霊団体である阿見町予科練平和記念館、阿見町観光ガイド、海原会の3団体が、地域における慰霊活動等の拡大及び活性化を図る目的で意見交換を行うための連絡会であり、年度内7回の連絡会を開催しました。本年度行った3者連携での活動は以下のとおりです。

4月10日、6月26日、8月7日、9月26日、11月14日、12月18日、2月13日

- (ア) 10月13日、霞ヶ浦高等学校ボランティア同好会が行った雄翔館等の案内研修を支援しました。
- (イ) 11月10日（日）に開催された武器学校開設記念行事において、武器学校からの支援要請を受けて海原会が主催した雄翔館の案内に阿見町観光ガイド（3名）及び霞ヶ浦高等学校ボランティア同好会（10名）の支援をいただきました。
- (ウ) 12月8日（日）に阿見町3団体共同事業として「武器学校及び予科練平和記念館見学ツアー」を開催しました。同ツアーは「阿見町で大切な人のために働くひとたちの歴史を紹介する」をテーマに、初めての3団体（予科練平和記念館、阿見町観光ガイド、海原会）共同事業として企画しましたが、50名の方が参加されて盛大に開催されました。

エ 霞ヶ浦高等学校ボランティア同好会との連携

II 定期刊行物発行事業

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来487号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に図るとともに、ご投稿をいただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげる施策を継続したいと思います。

1 編集会議

オンライン（ZOOMテレビ会議利用）または編集資料を郵送して年6回の編集会議を実施しました。

2 機関誌の発行

計画どおり、第482号から第487号まで6回の機関紙の発行を行いました。

3 雄翔館見学感想文投稿者に対する機関誌の無料提供

雄翔館訪問時に感想文を投稿していただいた方の内、住所及び氏名を記載された方40名に、本人の感想文が掲載された機関誌を無料で送付しました。

4 機関誌の後納郵便契約の締結

令和6年11月27日付で認可されたので同契約を阿見町中央郵便局と締結した。これにより年間約14万円の郵便料金の削減が可能となった。

5 機関「予科練」総目次（昭和42年～平成22年）の製本

機関紙「予科練」の総目次を作成した。本総目次は予科練同窓生のご子息である若林佳史氏が企画編集したものを海原会で再編集と印刷製本を実施したものである。

III 青少年育成支援事業

今年度は、阿見町子ども会育成連合会を支援しました。この際、令和6年7月7日に阿見町総合運動公園で開催された「阿見町子ども会育成連合会主催球技大会」に、篠田副理事長と平野事務局長が出席し助成金を交付するとともに、大会関係者との意見交換を行いました。

IV 庶務事項

1 理事会開催

隔月1回の定例理事会を実施しました。年6回の理事会の全てを対面での通常理事会としました。その出席者の状況及び開催月は以下のとおりです。

(1) 出席状況

理事会月	4月	6月	8月	10月	12月	2月
出席率	75%	86%	86%	86%	71%	57%

(2) 開催状況

令和6年4月20日、6月15日、8月17日、10月19日
令和7年2月15日

2 令和6年度評議員会

令和6年度評議員会を以下の要領で開催し、宮本代表理事が提案した以下の

議題について審議を行いました。

提案のとおり全評議員の賛成を得て承認されました。

(1) 開催時期

令和6年6月15日

(2) 開催場所

ホテルグローバルビュー土浦「けやき」

(茨城県土浦市港町 1-4-26)

(3) 審議事項

ア 令和5年度事業報告（令和5年度収支決算）

イ 監査結果報告

ウ 令和6年度事業計画（令和6年度収支予算）

エ 常勤役員に対する報酬の支給について

オ 令和6年度海原会定款の改訂について

カ 役員及び評議員の報酬並びに費用規程について

3 会計監査

令和6年4月20日（土） 海原会会議室において、令和6年度の評議員会の開催に先立ち、令和5年度の経費執行状況について監事1名による監査を実施し、令和5年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。

参加者

監事 原 雅英 氏

事務局長 （専務理事） 平野陽一郎氏

4 令和6年度臨時評議員会

代表理事の要請に基づき次のとおり令和6年度臨時評議員会をみなし決議で開催しました。

(1) 審議実施時期

令和7年3月31日

(2) 審議事項

第1号議案 基本財産の一部を除外する件

5 税額控除制度適用対象団体の指定受

海原会は、令和7年1月1日付けをもって税額控除制度適用対象団体の指定を受けたので、令和7年1月1日以降本制度適用のための業務を開始した。

令和年6年度に公益財団法人海原会が実施した事業を以上のとおり報告する。

公益財団法人 海原会

理事長 宮本 忠明